

文化祭

1 中央公民館

テーマ・スローガン:『輪をつくろう! 仲間との交流と親睦、文化の創造とともに!』-『学び』『活動』『協力』そして『楽しさ』『明るさ』へ-

(1) ねらい

- ①公民館利用団体に学習成果の発表の場を提供し、団体相互の交流を図る。
- ②広く市民に成果を公開し、生涯学習の振興と市民文化の向上を図る。
- ③学習成果を市民に還元するとともに、団体の育成・支援を図る。

(2) 概要

事業名：第43回中央公民館文化祭

主催：中央公民館、中央公民館文化祭実行委員会

舞台・フロア部門：音楽、ダンス等の発表（参加団体：50団体）

展示部門：作品展示、研究活動等の発表（参加団体：43団体）

催し部門：模擬店・バザー・スポーツ吹矢・健康マーじゃん（参加団体

5）

(3) 内容

月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
10/22 (土) 9:30～15:30 10/23 (日) 9:30～15:00	舞台・フロア	民謡、コーラス、吹奏楽、オカリナ、剣舞、ハーモニカ、詩吟、フォークダンス、カラオケ、健康体操、踊り、太極拳、社交ダンス、フラダンス、レクダンスなど	1,300 延べ来場者数
10/22 (土) 9:30～15:30 10/23 (日) 9:30～15:00	展示	切り絵、ハンドクラフト、水彩画、陶芸、木彫、油絵、絵手紙、仏画、日本画、水彩画、俳句、書道、短歌、篆刻など	
10/22 (土) 9:30～15:30 10/23 (日) 9:30～15:00	催し	模擬店・バザー・スポーツ吹矢・健康マーじゃん	

(4) 評価と反省

コロナ禍の中、担当者や実行委員も人が変わり手探りの中、3年ぶりに開催できた。

今まではフロア部門と舞台部門の発表の曜日を分けていたが、参加できない

団体もあったため、曜日を分けなくて希望を出してもらい発表順の調整を行った。例年と違う方法だったため不満も出たが、調整することができた。

また、コロナ禍で参加団体も減少することが予想されたため、参加団体の範囲を公民館利用団体連絡協議会（以下連協）に加入している団体から中央公民館登録団体に変更した。その結果、吹奏楽やミュージカルなど年齢層の若い団体からの参加もあり、バラエティ豊かな発表にすることができた。

準備の段階で平成27年度から引き続き、パネルの設置・撤去を群馬医療福祉大学の学生約40名にボランティア授業の一環として協力をいただき、高齢化している展示参加団体には負担の軽減となり、学生にとっては高齢者への理解を深め、公民館への関心を喚起する契機となった。

準備、本番、片付けを含めて、5日間の日程で相互に協力しながら文化祭が開催できたため、利用団体の連携と交流は十分に図ることができたと考える。

反省点1つ目としては、展示パネルの片づけの際にポールがぶつかり、打撲する人が出たため、パネル及びポールを扱う際には、必ず3名以上で行うよう注意喚起を行うとともに準備を監視する人を付け事故の防止を行いたい。

2つ目は、コロナ禍による休校があり令和2年度から明寿大学の学年の期間を9月～翌年8月としたため、文化祭開催時期が新年度間もない時期となってしまい、学生の混乱や参加できないクラブがあったため、次回までに文化祭の日程変更又は明寿大学の学年の期間を元の期間に戻す（4月～翌年3月）などの対応をしていきたい。



フロア発表



舞台発表



展示発表



バザー

2 上川淵公民館

(1) ねらい

- ①上川淵地区内の団体と公民館を利用して学習するグループが、学習の成果を発表することを通じて互いの交流を図る。
- ②地域住民に広く公開することによって、地域文化や公民館活動への理解を深め、地域生活と文化の向上に資する。

(2) 概要

開催日：11月5日(土)・6日(日)

会場：上川淵公民館

入場者：276人(延べ)

(3) 内容

部門	月日	内容	会場
作品展示	11月5日(土) 9:00~16:00	書道(2団体)・俳句・女性防火クラブ・郷土民俗資料館・地域づくり協議会・生涯学習奨励員	上川淵公民館 各部屋
	11月6日(日) 9:00~15:00	連絡協議会・図書館上川淵分館の計8団体の作品展示及び活動紹介	
舞台発表	11月5日(土) 10:00~12:00	だんべえ踊り・楽器演奏(4団体)・空手演武の計6団体が発表	上川淵公民館 ホール

(4) 評価と反省

新型コロナウイルスの感染症対策を徹底しながら、開催規模を縮小し、3年ぶりに開催した。

今回の文化祭では、三密や飛沫感染が懸念されるカラオケや模擬店等を中止し、作品展示部門と舞台発表に絞った形で実施したため、入場者数が激減したものの「活動の場」を提供することで、団体やグループの活動意欲に寄与できたと思われる。

なお、地域住民から今回未実施のバザーについて数件問合せがあり、次回以降は魅力ある文化祭が実施できるよう、協議していきたい。



開会式



舞台発表



展示部門（屋内）



展示部門（屋外）

3 下川淵公民館

(1) ねらい

- ①日頃から地域で学習をすすめている住民や、地区公民館や町公民館・集会所を拠点として活動するグループの学習の成果を発表する場をつくる。
- ②住民相互の連帯意識を深め、地域文化の向上を図る。

(2) 概要

第42回下川淵地区文化祭

テーマ「明日につなげよう文化祭」

開催日 11月12日（土）13日（日）

会場 下川淵公民館

(3) 内容

部門別	内容	人数
作品展示	水彩画、陶芸、編み物、絵手紙、俳句、写真、短歌、書道、フラワーデザイン、手芸、など	700 (延べ来場者数)
舞台発表	キッズダンス、手話コーラス、ギター演奏、フラダンス	
その他	パネル展示、花苗販売、こどもの広場（人形劇）、カルタクイズ&カルタブックレット販売、リサイクルブック配布など	

(4) 評価と反省

コロナ禍ではあったが、実施日に係る新型コロナウイルス感染症の状況については、群馬県の「社会経済活動再開に向けたガイドライン（改訂版）」に基づく警戒レベルが「2」で、感染状況は比較的落ち着いている中で文化祭を開催することができたのは幸いだった。

新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ、飛沫が飛ばないもの等、内容を検討し、下川淵公民館部屋利用のガイドラインVer.3に基づき実施した。

感染対策に留意し、昨年に引き続き、継続して開催できたことは良かった。



「舞台発表」



「会場の様子」

4 芳賀公民館

文化祭（芳賀ふるさとまつり）

テーマ・スローガン：「ふれあい にぎわい 学びあい ふるさと芳賀」

（1）ねらい

芳賀公民館や地域で活動している団体・自主学習グループ・個人が日頃の活動や学習の成果を発表するとともに、地域住民の交流を深めるお祭りとして開催し地域の活性化や文化の向上を図る。

（2）概要

主催：芳賀ふるさとまつり実施委員会、芳賀公民館

共催：芳賀地区地域づくり推進協議会、芳賀地区青少年健全育成会

開催日時：11月5日（土）9：00～12：00

（3）内容

月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
11/5（土） 9:00～12:00	展示	作品展示：陶芸、七宝焼、押し花、美術作品、俳句、幼児の作品等	1,000人 延べ来場者数
	舞台	舞台発表：レクダンス、ウクレレ、トーンチャイム、合唱等	
	にぎわい	体験コーナー：陶芸、押し花、保健コーナー、食生活改善コーナー、生涯学習コーナー 模擬店：ジュース販売	

	地域づくり	各自治会の野菜の販売：キャベツ、きゅうり、さつまいも、大根、白菜 各自治会の体験コーナー：白木こま・ヨーヨー色付け、スライム、かざぐるま、しめ縄、ミニ門松、プラバン	
	こどもを明るく育てる集い	芳賀の子どもを明るく育てるための絵画入賞者表彰、児童・生徒の活動発表	

(4) 評価と反省

3年ぶりに芳賀ふるさとまつりを、規模は縮小となったが開催することができた。今年度は感染対策を行う係を新たに設け、入館時の検温や手指消毒の徹底、部屋の入場人数の制限など感染対策を講じた上で実施した。

まつりを開催することで、芳賀公民館や地域で活動する自主学習グループが日頃の成果を披露する場となったことは出展、出演者のモチベーションアップに繋がったと思われた。

地元野菜の即売会、体験コーナー等にも多くの人に参加し、地元住民の交流を深めるとともに、地域の文化の向上発展に繋げることができた。コロナ禍における久しぶりのまつり開催に多くの住民の笑顔があふれていたのが印象的であった。



作品展示



舞台発表



体験コーナー（屋内）



体験コーナー（戸外）



野菜販売



絵画入賞者表彰

5 桂萱公民館

桂萱地区文化祭

(1) ねらい

テーマ・スローガン：「文化祭 世代をこえて 絆をふかめ」

- ①桂萱地区地域づくり活動促進事業の一環として、地区内で各種学習活動に励む市民や団体、グループ等が一堂に会し、日頃の練習成果、学習成果を発表し合い、団体相互間の交流を深める。
- ②活動内容を広く市民に公開し、芸術文化への興味関心を高め地域文化の向上を図る。
- ③住民同士の連帯意識の醸成や絆を深め、住みよい地域づくりに寄与する。

(2) 概要

事業名：前橋市市政施行130周年記念

令和4年度 第42回桂萱地区文化祭

場 所：桂萱公民館

主 催：第42回桂萱地区文化祭実行委員会

(3) 内容

月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
10/22 (土) 11:00~15:30	フロア発表	太極拳、フォークダンス、社交ダンス 7団体の出演 121人	2,000 延べ来場者数
10/29 (土) 9:00~15:00 10/30 (日) 9:00~14:00	作品展示	水彩画、洋画、短歌、書道、七宝焼、陶芸 古文書、歴史、ガールスカウト活動展示等 12団体の作品 149点 138人	

10/30 (日) 9:00~11:40	舞台発表	吹奏楽、合唱、フラダンス、民舞、手話コーラス、八木節、読み聞かせ、ハーモニカ、園児による遊戯、歌謡曲、民謡、ピアノ、ケーナ演奏など 18団体の出演と個人参加 164人
10/29 (土) 14:00~16:30 10/30 (日) 9:00~14:00	その他	かがや ふれ愛コンサート(前橋工業高等学校吹奏楽部出演)、郷土芸能交流会、囲碁将棋コーナー、物品販売、地区内小・中・特別支援学校児童生徒の書画展、リサイクル本の無料配布、パネル展示、ブーメラン作り、クイズラリー、ベンチペイント、大抽選会など 13団体 145人

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染症の影響により一昨年、昨年と中止となりましたが、感染症対策を実施しながら前橋市市政施行130周年記念事業と併せ第42回桂萱地区文化祭を3年ぶりに開催しました。この文化祭を開催することにより、桂萱地区内で学習活動に励む個人や団体、学習グループ等が一堂に会し、コロナ禍にあっても継続してきた日頃の学習成果を発表し合い、団体相互の交流を深めることができました。

また、その活動内容を広く地域市民に公開することにより、住民の芸術文化への興味関心を高めるとともに、今回から期間拡大して新設した太極拳・フォークダンス・社交ダンス団体によるフロア発表部門の実施や前回に引き続き学習グループによる七宝焼きなどの譲渡販売会、図書館桂萱分館によるリサイクル本の無料配布や新たに文化祭クイズラリー並びに幸せの黄色いベンチのペイントなどを実施し、多くの来場者を呼び込むことができ地域文化の向上と住みよい地域づくりに寄与することができました。

文化祭に参加した中学生並びに一般ボランティアは、文化祭を通して普段接することがない地域の多くの人と接することができ、思い出に残るよい経験をしたのではないかと感じました。

今後も、地域住民と力を合わせて地域の絆を深められる伝統のある文化祭を開催していきたい。



作品展示



フロア発表



ふれ愛コンサート



舞台発表

6 東公民館

(1) ねらい

- ①東公民館を利用して学習するグループ及び東地区の地域団体が、日ごろの学習や活動の成果を発表する。
- ②東地区の地域団体との交流を深め、地域文化の向上を図る。

(2) 概要

事業名：第42回東公民館文化祭

会場：東公民館

(3) 内容

月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
11/12 (土) 11/13 (日) 10:00~12:00	舞台発表	大正琴、フォークダンス、詩吟、太極拳、 社交ダンス、コーラス、ハーモニカ、 空手道、フラダンス、ウクレレ、歌謡曲 13 団体	370 人 (健康チェックシート による)
11/14 (月) ~20 (日) 10:00~15:00	作品展示	歴史、水彩画、ペン習字、陶芸、 各町の広報、食生活 6 団体	298 人

11/21 (月) ~27 (日) 10:00~15:00		短歌、書道、水墨画、写真、革工芸 5 団体	67 人
11/12 (土) ~27 (日)	アンケート チラシ配布	食生活 (11/12 のみ)、防火 2 団体 支援活動 1 団体	

(4) 評価と反省

新型コロナ感染拡大防止のため規模を縮小し、自主グループ連絡協議会加入グループを中心に舞台発表と作品展示を実施した。また、来場者が集中することを防ぐため、舞台発表と作品展示の時期をずらして実施した。

舞台発表は、時間を短縮し午前中のみで開催とし、1グループ当たりの出演者数や客席の定員を設け、全ての人に健康チェックシートを提出してもらった。

作品展示は、期間を2週間とし、2班に分け1週間ずつ展示した。

参加者からは、制限のある中知恵と工夫で良い発表ができた、発表する場が活動の励みとなった、展示は時間と場所に余裕がありいろいろな人にじっくり見てもらえたなどの感想があった。一方、舞台と展示は同時開催が良い、土日開催の方が盛り上がって文化祭らしくてよい、展示期間が長すぎたなどの意見もあった。できることを探りながら来年につなげていきたい。



舞台発表 フォークダンス



舞台発表 合唱



舞台発表 空手



作品展示 (交流スペース)



作品展示 陶芸（会議室）



作品展示 レザークラフト（会議室）

7 元総社公民館

（1）ねらい

地域住民の学習・文化活動ならびに伝統芸能の継承活動等の成果発表を通して、地域の芸術文化の振興と向上を図り、併せて地域住民の連帯感を深めることを目的とする。

（2）概要

事業名：第37回元総社地区文化祭

周知方法：①館報へ掲載、②ポスターの館内掲示、③各自治会の掲示板に掲示、④文化祭プログラムの全戸配布及び館内設置

（3）内容

月日・時間	部門	内容	人数
10/29（土） 13:15～16:00	作品展示	絵画等（地区内4小中学校作品、元総社幼稚園、元総社保育所）、油絵・水彩画・写真・活動発表（自主グループ、福祉施設、一般作品）、俳句・書道・パソコン学習・宇宙の学習活動紹介・アートフラワー・和紙ちぎり絵（自主グループ、一般作品）、陶芸・絵手紙・編み物（自主グループ）、活動写真・広報紙等（生涯学習奨励員連協）、活動記録等（地域づくり協議会）	804 延べ来場者数
10/30（日） 9:00～13:00			
10/29（土） 13:20～15:10	舞台発表	【伝統芸能】 大友町百万遍保存会、総社神社太々神楽保存会 ※元総社町上宿町獅子舞保存会については、コロナ濃厚接触者の関係で急きょ不参加となる。	

10/30（日） 9:00～13:00		【活動発表】 大正琴合唱、民謡踊り、太極拳、新舞踊、社交ダンス、フラダンス、ハーモニカ合奏、フォークダンス 詩吟、民族舞踊・太鼓舞踊、吹奏楽	
------------------------	--	---	--

（４）評価と反省

前回（令和元年度）のアンケート結果を活かし、1日目を「子どもを中心とした文化祭」、2日目を「大人を中心とした文化祭」といった内容にしようと4月当初より実行委員会の正副委員長を中心に学校やPTA、自主グループ連協と意見交換を重ねた結果、新型コロナウイルス感染症の関係で、子ども達の「合唱や吹奏楽の舞台発表」や「子ども広場」、「模擬店」が中止となり、規模を縮小した「大人を中心とした文化祭」となったが、天候にも恵まれ、縮小開催なりに盛り上がった。公民館や地域で学習するグループが一堂に会し、日頃の成果を通して交流し、また伝統芸能の継承活動の成果発表を行い、地域の振興と向上を図り、地域住民の連帯感を深めることができた。特に、舞台発表のトリを飾ったアンサンブル響の演奏は、市立元総社中学校・第六中学校の吹奏楽部員をはじめ、全ての観客が聴き入るほどすばらしかった。

来年度以降、新型コロナの状況がどのようになっているか分からないが、充実した文化祭にしていくため、今回のアンケートを基に企画・検討していきたい。



総社神社太々神楽保存会
発表の様子



大友町百万遍保存会
発表の様子



作品展示（小学校）の様子



作品展示（自主グループ）の様子



舞台発表（太極拳）の様子



舞台発表（アンサンブル響）の様子

8 総社公民館

(1) ねらい

- ①総社公民館、桜が丘集会所及び地区内で学習する団体・グループ・地区住民の文化祭運営・発表を通して、相互の交流を図る。
- ②日頃の様々な学習活動の成果を来館者が観覧及び体験し、幅広く地区の芸術・文化に親しむ機会とする。
- ③文化祭を円滑にすすめ地域で盛り上げるため、総社地区自治会連合会・各種地域団体・学校の協力により企画実施する。

(2) 内容

作品展示・舞台発表

開催予定日：10月29日（土）・10月30日（日）

8月5日（金）に文化祭実行委員会を開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止を決定した。

9 南橋公民館

テーマ・スローガン：「この手でつくろう 誇れる文化 明るい郷土・南橋」

(1) ねらい

- ①南橋地区内で各種学習活動に励む市民が一堂に会し、それぞれの学習成果の発表をすることをおして、互いに交流を深める。
- ②市民に公開し、地域の学習文化活動や公民館活動への理解を深め、地域の文化振興と活力ある地域づくりに寄与する。

(2) 概要

事業名：令和4年度南橋地区文化祭

主催：南橋地区文化祭実行委員会、南橋公民館

会場：南橋公民館

(3) 内容

月日・時間	部門	内容	人数
10/29(土)30(日) ともに9:30～15:00	運営部	受付係、救護係	10/29(土) 462 10/30(日) 590 延べ 1,052 延べ来場者数
	展示部	水彩画、パッチワーク、陶芸、書道、七宝焼き、絵画、各町広報紙、活動記録、小中学生作品(絵画、油絵、イラスト、紙粘土作品、書道)	
	催し部	健康相談、室内警報器アンケート調査、リフォーム衣類等の展示、廃油せっけんの販売、陶芸品の販売、田口菜油の販売、古本の配布、白磁(お皿)の販売、青果の販売	

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発表部(舞台発表)と交流部(ダンス)は中止し、展示部(作品展示)と催し部(模擬店他)のみで開催。催し部は、飲食物の販売・提供を中止した。

初めての試みとして、南橋地区内すべての小中学校に展示作品の出品を依頼し展示した。このことにより地域での発表の場を確保するとともに、日頃の学習成果を地域住民に紹介することができた。

10 清里公民館

テーマ・スローガン:「今を輝け、文化の清里」

(1) ねらい

①日頃の学習活動や文化活動、伝統芸能の継承活動等の成果を発表する場を提供する。

②芸術文化・地域文化の向上を図る。

③住民同士の交流、連帯感を深める機会とする。

(2) 概要

清里公民館を会場に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2、3年度と中止していたが、3年ぶりに42回目の地区文化祭を開催。企画運営にあたっては自治会連合会を中心に各種団体役員で構成する文化祭実行委員会を組織し、作品展示や舞台発表、模擬店など各種催事を実施。

参加者は、主に公民館利用者の団体であり、開催時間は12時から16時。

情報提供は、10月の公民館報及び同月中旬に文化祭当日の内容チラシを全戸配布した。

(3) 内容

事業名	第42回清里地区文化祭		
実施期日	令和4年10月29日(土)		
実行委員会	実行委員会委員長 松下 順久(自治会連合会長)		
文化祭の内容	作品展示	七宝焼、陶芸、着物リメイク作品、中国結び、古布人形(配布あり)、書道、少年野球の活動紹介	9団体88人
	舞台発表	大正琴、フラダンス、日本舞踊、詩吟、フォークダンス、体操、コーラス、子ども八木節、太極拳、ウクレレ、だんべえ踊り、保育園の合唱、剣道	13団体150人
	催物	きよさと焼・ジュース・コーヒーの販売、駄菓子配付、くじ引き・輪投げ、カタヌキ、キーホルダーの作成	9団体70人
延べ入場者数			540人

(4) 評価と反省

今年度は3年ぶりの開催のため、公募は行わず規模を縮小し実施した。

オープニングセレモニーの野良犬獅子舞は、駐車場での披露。

館内入場者は、検温及び健康状態申告書を提出した。

作品展示部門では三密を避けるため、作品展示及び配布のみ行い、展示室には人数制限を設け一方通行での展示となった。

舞台発表についても、ホール入場者の制限を設け実施した。

文化祭当日の風が強く、テントが飛ばされそうになり、駐車場のコーンが倒れるなどしていたため、次年度からは相当の対策が必要。



野良犬獅子舞



きよさと焼



子ども八木節



清里宝友会

1 1 永明公民館

(1) ねらい

- ①地域住民等に生涯学習活動や地域内の学習活動への興味や交流の機会を提供する。
- ②永明公民館や管内各所を利用して学習する団体等の交流を図る。
- ③学習団体等の学習成果を広く地域住民等に公開する機会とする。
- ④公民館活動や地域学習文化活動への理解を深める機会とする。
- ⑤生活文化の向上と活力ある地域づくりに寄与する。

(2) 概 要

11月5日(土) 11月6日(日)、永明公民館を会場として実施。

入場者 延べ 約1,000人

(3) 内 容

催し	月日	内容
作品展示	11/5.6	自主学習グループ作品展示(陶芸・写真・編物・水墨画・水彩画・折り紙・絵手紙等)、永明小学校、木瀬中学校、永明地区子育連(20団体)
舞台発表	11/5	【ステージ部門】 合唱・ハーモニカ演奏・英会話と歌・ウクレレ演奏・詩吟等(8団体・75名出演)
		【フロア部門】 レクダンス・フォークダンス・社交ダンス・空手演武等(8団体・72名出演)

(4) 評価と反省

永明公民館新築後の最初となる文化祭は、新形コロナウイルスの感染防止対策の影響で、カラオケ部門や模擬店・体験コーナーは中止とし、作品展示と舞台発表に限っての縮小開催とした。

舞台発表では、観客をホールの定員におさえるべく、客席数の限定を行う反面、DVD記録を行うことで、非接触型の公開とアーカイブ化を図っている。

準備や進行の難しい作品展示・舞台発表なども多くの方々の協力により、滞りなく進行することが出来た。作品展示については、出展する団体に女性や高齢者が多いことから、管内自治会の協力によりパネル設営等を行ない、円滑に会場準備が出来た。

文化祭第二日目にあたる11月6日には、市制施行130周年記念式典が開催され、永明公民館では分散会場をとして、オンライン中継による市長あいさつのあと、永明地区での功労者表彰が行われた。終了後、式典参加者は各展示団体の解説で、作品展示をめぐっていた。



舞台発表の様子



作品展示の様子

1 2 城南公民館

(1) ねらい

- ①地域文化の向上を図る。
- ②城南地区住民及び城南公民館で学習しているグループ・団体等の日頃の学習活動の成果を発表する機会とする。
- ③世代間の交流を図る。
- ④感染防止対策を徹底した上で実施することで、コロナ禍で中断している地域行事を再開するきっかけとする。

(2) 概要

城南地区文化祭実行委員会を立ち上げ、「ふれあいで はぐくむ 地域の和」をテーマに2日間開催した。

事業名：第43回 城南地区文化祭

(3) 内容

月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
11/5 (土) 9:00~16:00	作品展示	・一般公募作品 (生け花、写真、和紙ちぎり)	
11/6 (日) 9:00~15:00		・講座作品 (手芸) ・各種団体・グループ作品	

		<p>(俳句、短歌、写真、うちわ、折り紙、絵手紙、ブローチ、陶芸、竹細工、工作、木工細工、手芸、テラコッタ、水彩画、壁紙、オブジェ、リース、ちぎり絵、ワイヤー・クラフトテープ、着物立ボディ(着付け)など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり協議会 <p>(絵画コンクール入賞作品、大室城復元模型)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習奨励員連絡協議会(わが町自慢) ・荒砥中美術部、荒砥保育所、二之宮保育園(児童・生徒の作品) 	
11/6(日) 10:00~15:00	健康・食生活・介護 予防相談	<p>保健推進員 (みんなで取り組む健康づくり)</p> <p>食生活改善推進員 (野菜をたくさん食べる工夫)</p> <p>地域包括支援センター城南・上毛の里 (血管年齢ストレス測定、脳年齢測定)</p> <p>善衆会病院 (健康相談、骨粗鬆症のリスク無料診断他)</p>	
11/6(日) 10:30~15:00	舞台発表	フラダンス、ギター、コーラス、だんべえ踊り、二之宮音頭、童謡、八木節など、城南公民館学習グループによるステージ発表	
11/5(土) 10:00~15:00 11/6(日) 10:00~14:00	お点前	茶道体験	
11/5(土) 13:30~15:00 11/6(日) 10:00~12:00	交流会 こどものつどい	<p>社交ダンス、フラダンスによる交流会(ホール発表)</p> <p>文化財職員による「まが玉づくり体験」</p>	
11/5(土) 10:00~16:00 11/6(日)	模擬店	だんご、まんじゅう、わかめ、チーズケーキ、ともの月、納豆、かりんとう、マドレーヌ、揚げおかき、フードドライブなど5団体	2,500 延べ参加者数

10:00～14:00			
11/5 (土) 10:00～11:30 11/6 (日) 10:00～14:00	福祉バザ ー	城南ボランティアの会によるバザー	
11/6 (日) 10:00～14:00	農業組 合 法人二之 宮 コーナー	トラクター、コンバイン、ブームスプレイヤ ー、農業用ドローン展示	
11/6 (日) 10:00～14:00	消防団 コーナー	ポップコーン及び綿菓子の無料配布、消防車 両展示など	
11/5 (土) 11:00～16:00 11/6 (日) 9:00～14:00	ガーデ ニング展	老人クラブ会員によるガーデニングの展示	

(4) 評価と反省

- ・地域の皆さまの協力を得て、3年振りの文化祭を開催できた。自主学習グループが舞台発表で日ごろの練習成果を披露したり、自主学習グループや公民館主催講座等の作品を展示したりして、地域の文化活動の場として、期間中の2日間はコロナ禍であることを忘れるほどの賑わいを見せた。
- ・前回に続いて実施した中学生以下を対象としたスタンプラリー、地区内保育園や荒砥中学校の美術部の作品を展示、ポップコーンや綿菓子の無料配布に加え、こどものつどいでのまが玉づくり体験も大盛況で、長年の課題である子どもの入場者数も若干の増加につながった。
- ・今年度も共愛学園前橋国際大学「繭美蚕」が模擬店に参加したり、荒砥中学校生徒がボランティアで参加したりと、地域内で学生・生徒の活躍する場を提供することができた。
- ・文化祭の開催に合わせて、青少年学習フェスタとして荒砥中学校生徒による学習成果発表と130周年記念式典として市政功労者(団体)の表彰を行った。
- ・新たな試みで、地区内の農業組合法人である二之宮による農機具等の展示や、老人クラブ会員によるガーデニング展にも華を添えていただいた。



開会式の様子



学習グループによる作品展示



中学生がボランティアで参加



城南青少年学習フェスタでの発表



満員御礼のまが玉づくり



日頃の練習成果を発表



交流会の様子



消防コーナーでは消防車への試乗



130周年記念式典での表彰式



農業法人組合二之宮による農機具展示



健康コーナーの様子



ころとんも登場しました！

13 大胡公民館

(1) ねらい

- ①関係団体・グループが一堂に会し、日頃の活動の成果を発表することで、お互いの交流を図る。
- ②大胡地区の芸術・文化の向上に寄与する。

(2) 対象等

大胡公民館利用団体・前橋市文化協会大胡支部加入団体・地区内保育園・こども園・幼稚園・小中学校等で実行委員会を組織する。
作品展示・芸能祭・音楽祭・茶道会・史跡めぐり・囲碁大会・将棋大会等を開催し、幅広く地域市民の参加を促す。

(3) 内容

部門別	期日	開催内容
作品展示	10/21(金) ～10/23日(日) 9:30～17:00 23日は15:00まで	書道、絵画、切り絵、水墨画、写真、陶芸、籐工芸、赤城少年院紹介、団体活動紹介、大胡地区内保育園児・こども園児・幼稚園児作品等、小学校・中学校児童生徒作品等(出品数369点・来場者数500名)
芸能祭	10/30(日) ※6/14役員会にて中止決定	民謡合唱、独唱、歌謡吟詠、民舞、レクダンス、舞踊、合唱・合奏、詩舞、フラダンス、和太鼓、太極拳、詩の朗読、八木節など

茶道会	10/30 (日) ※6/14 役員会にて 中止決定	大胡シャンテ和室にて呈茶
音楽祭	11/5 (土) ※6/14 役員会にて 中止決定	合唱 (混声・女声・児童)、合同合唱、オカリナ演奏、吹奏楽、地区内小・中学校合唱、大胡中学校吹奏楽等
史跡めぐり	11/3 (木) 文化の日 9:15～正午	大胡地区内の史跡めぐりを行う。大胡神社、養林寺、大胡城址など。(参加者 14 名)
将棋大会	11/6 (日) 10:00～17:00	A B C の 3 クラスに分かれて行う。(参加者 17 名) 1 位から 3 位までに賞状を授与する。
囲碁大会	11/13 (日) 10:00～17:00	A B C の 3 クラスに分かれて行う。(参加者 18 名) 1 位から 3 位までに賞状を授与する。

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月の役員会において、音楽祭、芸能祭、茶道会が中止となった。作品展示、史跡めぐり、将棋大会、囲碁大会は3年ぶりに開催することが出来た。新たな試みとして、作品展示は大胡体育館から公民館ホールへと会場を変更し、コロナ感染防止対策として、作品の搬入、搬出時間をずらし、時間指定で行った。史跡めぐりでは、天候にも恵まれ、大胡歴史研究会3名の係員ガイドにより、子ども2名を含む計9名の参加があり、ウォーキングを楽しみながら、大胡城跡、養林寺、長善寺へと向かい、大胡の歴史について学ぶことが出来た。参加者からは「3年ぶりに開催できて、大変思い出残る文化の日となった。」という声をいただいた。また、将棋大会、囲碁大会においても各会場において盛大に行うことができた。



総合展示



大胡地区内史跡めぐり



将棋大会



囲碁大会

14 宮城公民館

(1) ねらい

- ①地区内及び宮城公民館で学習するグループ・個人が日頃の学習活動の成果を発表するとともに、広く地域住民に公開し、文化の向上に寄与する。
- ②作品展示、舞台発表、模擬店、総務の専門部ごとに実行委員が中心となり開催する。
- ③グループ・個人の活動の活性化を目指す。
- ④グループ・団体及び地域住民の交流の場とする。

(2) 概要

宮城公民館を会場として作品展示、芸能発表等を行った。来場者総数 710 人。また、2 日目にみやぎ地域づくり交流会「みやぎいいもん祭り」を開催した。

(3) 内容

部 門	期 間	内 容
芸能発表 開会行事	11/6 (日) 9:30~14:00	民謡踊り、だんべえ踊り、よさこい鳴子踊り、フラダンス、楽器演奏他 (団体 9、個人 1 人、発表者 84 人)
作品展示	11/5 (土) 13:00~16:00 11/6 (日) 9:00~14:00	陶芸、書道、短歌、手芸、木工、トールペイント、赤城育心こども園児作品、宮城幼稚園児作品、宮城小学校生徒絵画作品、宮城中学校文化部絵画、公民館学級作品他 (出品 団体 15、個人 3、309 点)
模擬店	11/6 (日) 9:00~ 売り切れまで	陶芸作品、クッキー・染織製品、野菜、市立図書館宮城分館廃本配布 (出店 4)
その他	11/6 (日) 9:00~14:00	みやぎいいもん祭り (チャリティーバザー、特産品、ゆるきゃらグッズ、日本画体験、子供あそびコーナー、三夜沢あずきゲーム、花苗配布)

(4) 評価と反省

新型コロナウイルスにより活動が制限される中、参加者総数も少ない状況であったが、地域主体の運営により 3 年ぶりの文化祭が開催された。芸能部門は飛沫感染が懸念される合唱やカラオケ等を中止したことで出演者が減り観客者も少なく寂しい印象になってしまったが、同時開催のいいもん祭りでは地元出身の日本画家による体験教室や屋外の遊びのコーナーに多くの子ども達の参加があり会場が賑わった。久しぶりに多くの住民同士の交流が生まれ、地域の活性化に繋がる機会となり、小規模開催ではあったが意義深い行事となった。

15 粕川公民館

第2回粕川元気まつり

(1) ねらい

粕川元気まつりとして地域全体に呼びかけ開催する。

①公民館利用団体等の日頃の成果を発表する場を設ける。

②地域住民相互の交流を図る。

③地区の伝統・文化・産業振興を図り、活力ある地域づくりを目指す。

(2) 内容

回	月日・時間	部門	内容	場所	人数
1	11/6 (日) 9:00～15:00	ステージ	粕川中学校吹奏楽部、女淵御霊神社太々神楽、健康太極拳クラブ、英紗華会、ハイレンリンガーズ、琴サウンドリバー、プルメリア、かすかわロコモコ、藤栄会、渡辺二郎、ノアメリア	粕川公民館 大ホール	950
	11/6 (日) 9:00～15:00 11/7 (月)～ 11/12 (土) 9:00～16:00	展示	◎公民館 (ロビー) 粕川幼稚園 (多目的ホール) 粕川小・月田小代表児童、粕川中学校科学部、粕川町短歌クラブ、粕川絵画クラブ、せせらぎ句会、東部商工会、絵手紙サークル、粕川地区食生活改善推進員会、女淵区自治会、 ◎隣保館 (ロビー) 写団エイト、粕川陶芸クラブ、粕川書の友会	粕川公民館 隣保館	
2	11/14 (月)～ 11/20 (日) 8:30～17:15	展示	◎公民館 (ロビー) リボンレイの会、リサイクルブックの配付 ◎隣保館 (ロビー) 粕川保育所、更生保護女性会粕川支部	粕川公民館 隣保館	231

(4) 評価と反省

3年ぶりの地区文化祭開催となったが、新型コロナの感染状況を鑑み、縮小開催となった。開催場所を粕川小学校から粕川公民館へ変更し、ステージ発表は無観客で行った。また、来場の分散化を狙い、例年より展示期間を延ばした。

ステージ発表は無観客だったため、例年より参加団体は少なかったが、縮小開催だったので、問題なくプログラムを組むことができた。ステージ発表の様子は、DVDに収録し、希望住民へDVDの貸し出しを行っている。ステージ発表の出演者及び来場者からは、有観客で実施してほしいという意見があったため、次年度に向けての検討課題である。

展示部門は、2部制にして展示を行い、期間はそれぞれ1週間程度とした。来場の分散化を試みたが、2、3日を過ぎたころから来場者が少なくなってきたため、係員の負担を考慮し、期間をもう少し短くしたほうが良いと感じた。

元気まつり当日は、粕川中学校の科学部の生徒達に協力してもらい、受付や見回りの係員として従事してもらった。中学生ボランティアが、誠意をもって受付対応をしている姿や高齢者の車椅子を押して手伝っている姿を見て、良

い活躍の場となったと実感している。



柏川中学校吹奏楽部



女淵御霊神社太々神楽



小学生の民踊踊り



ウクレレ演奏とフラダンス



来場者の様子



展示（絵画）



展示（写真）



展示（保育所）

16 富士見公民館

テーマ・スローガン:「心豊かに文化祭」

(1) ねらい

- ①地区内で各種学習活動に励む市民が一堂に会し、それぞれの学習成果を発表しあって交流を深める。
- ②文化祭行事を広く市民に公開して、地域の文化興隆に寄与する。

(2) 概要

事業名：第48回富士見地区文化祭

開催日：11月19日から11月23日までの5日間

会場：富士見公民館

(3) 内容

月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
11/19 (土) 13:00~17:00 ～ 11/23 (水) 9:00~12:00	作品展示	絵画、水墨画、写真、書道、短歌、俳句、手芸、編み物、押し花、郷土資料、児童生徒作品・スポーツ吹矢体験、出品者321人作品573点	参観者 529人

(4) 評価と反省

ホールを主会場に作品展を開催した。絵画（はがき絵等）は増えたが手芸作品（パッチワークやペーパーフラワー）が減ったため、昨年より作品は少なかった。また、20日にスポーツ吹矢体験を実施したが、雨天のためか親子連れも少なく、体験者は数人だった。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため芸能発表や囲碁・将棋大会、呈茶席等は中止した。



書道展（多目的室）



写真展（2階ロビー）



手芸展（ホール）



郷土資料展（ホール）



短歌展（ホール）



絵画展（ホール）



児童生徒作品展（ホール）



スポーツ吹矢体験（造形創作室）